

いわて



明日にトライ!

～いわてのチャレンジャーたち～

有限
会社
吉田
研磨工業

まさにオンリーワン
地域に根ざした研磨企業

事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

12月 —DECEMBER—

13日～15日 SEMICON Japan 2017(東京都)
14日～16日 いわて産直市(東京都)

1月 —JANUARY—

17日～19日 ネブコンジャパン2018(東京都)

2月 —FEBRUARY—

1日～2日 とうほく・北海道
新技術・新工法展示商談会(愛知県)
1日～6日 岩手県の物産と観光特別展
(名古屋丸米展)(愛知県)
8日 農商工連携ビジネスセミナー(盛岡市)
14～16日 スーパーマーケット・
トレードショー2018(千葉県)

3月 —MARCH—

27日 工程改善研修会 活動報告会(北上市)
21日～26日 岩手県の物産と観光展
(大いわて展)(東京都)

スーパーマーケット・トレードショー2018出展のお知らせ 4
平成30年度「第22回機械要素技術展」出展企業募集のお知らせ 5
岩手県知財総合支援窓口からのお知らせ 5
平成29年度いわて特産品コンクール
岩手県知事賞受賞商品のご紹介 6
平成29年度 設備貸与制度のご案内 8



まさにオンリーワン 地域に根ざした研磨企業

盛岡市

有限会社吉田研磨工業

盛岡市の住宅街に工場を構えて47年。刃物の設計・製造・研磨を請け負う有限会社吉田研磨工業は、岩手県内唯一の研磨事業者として家庭用刃物はもちろん法人需要にも対応、オンリーワンの技術を提供する。熟練の職人・吉田玉吉社長は「地域貢献こそ企業発展の鍵」と経営に取り組む。

職人技術と最新加工機械による技術を融合

「昔、大きな工場には必ず刃物の研ぎや修理などを行う『目立て屋』と呼ばれる職人がいました。しかしチップソーの登場により、人の手による調整が難しくなった。そこに私は注目したんです」。

職人技から機械による大量生産へ、日本の産業構造が転換した高度成長期。盛岡市にある有限会社吉田研磨工業も、腕のいい宮大工だった吉田玉吉社長が「刃物研磨こそ次代の産業」と見すえ、静岡県の大丸鋸メーカーで修業ののち昭和46年に立ち上げた。以来47年、磨いてきたその技術は今や県内では唯一無二の存在となり、北東北でも同業者はほんの数社を数えるだけ。吉田社長の元には、各地から刃物に関するありとあらゆる依頼が舞い込んでいる。

同社が頼りにされる理由は、その研磨領域の広さにある。チップソーはもちろんカッター・ビット類、かなな刃にメタルソー、工業用特殊刃物などの法人需要から包丁やハサミなどの家庭用刃物にまで対応し、欠損刃の修理にも対応。顧客は木材木製品加

工業から樹脂製品製造業、金属加工業など多岐に渡り、近年は大型畜産物を裁断する食肉加工業者との取引も始まっている。研磨と修理だけではない。自社ブランドの木材加工用替え刃の設計と販売、スケートリンクの氷削り刃を製作し市内のスケートリンクの管理も請け負っている。すべて、顧客からの要望によって取り組んでいる事業だ。

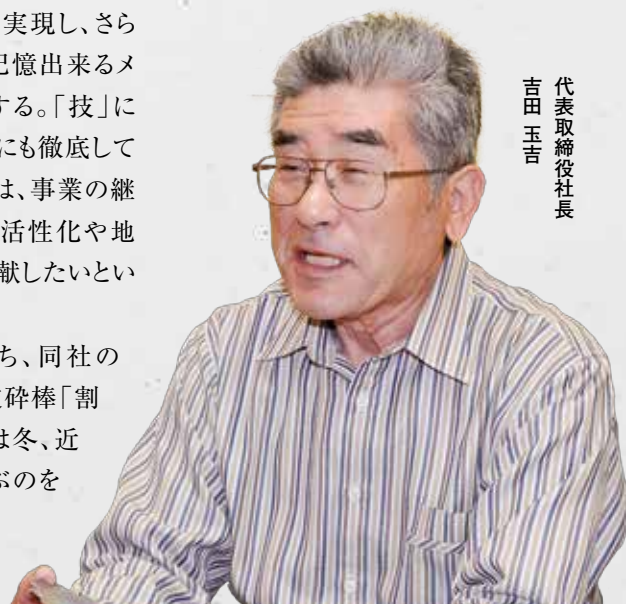
もちろんそこには職人の研磨技術という裏付けがある。しかし同社ではドイツ製高性能研磨機を東北では唯一導入するなど最新技術の受け入れにも積極的。最新鋭機はチップソー研磨の工程短縮を実現し、さらに熟練工のノウハウを記憶出来るメモリー機能までも搭載する。「技」にこだわりながらも省力化にも徹底して取り組む。そこにあるのは、事業の継続を通して地域産業の活性化や地元の雇用活性化にも貢献したいという思いだ。

発売から10年が経ち、同社の「顔」ともなっている氷破碎棒「割るぞうくん」も、そもそもは冬、近隣住人が氷の上で転ぶのを

見ていた吉田社長が「何かいい製品はないか」と独自に工夫、開発したもの。製紙工場用の粉碎刃を再利用した製品は路上の氷を確実に砕くと、鉄道会社や大手百貨店からの大口注文も相次いでいる。

包丁を研いで欲しいと訪れる主婦、高校の華道部からのハサミ研ぎの依頼…。仕事の大小ではなく、一つひとつに真摯に応えていくのが同社のやり方だ。「地元の仕事をせずには大きくなれないと確信している。私たちは、地域に根を張る研磨屋として成長していきたい」。吉田社長はそう力を込める。

代表取締役社長
吉田玉吉



①東北で唯一導入 ドイツ製高性能研磨機(VOLLMER CHC-840)②平成28年導入のドイツ製自動チップソー研磨機。従来の4工程の研磨を1工程で行える。③チップソーは大きくなると遠心力により本体に歪みが生じる。これをハンマーで叩いて歪みを直す「こし入れ」は吉田社長にしか出来ない熟練技術。④吉田社長をトップに3人の熟練の職人が研磨作業にあたる。⑤ドイツ製加工機械と同時に導入した全自動研磨機。

吉田研磨工業の技術

研磨は、荒取り(めくれた刃先を修正)、中仕上げ、ダイヤモンド砥石による本仕上げで切れ味を復活。



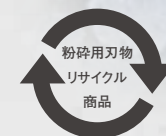
頑固な氷をラクラク砕く!

氷砕金棒 割るぞうくん®

北国の悩みを解決する弊社開発製品

吉田研磨工業の技術

「刃物に特化した企業として開発したい」と取り組んだ「割るぞうくん」。製紙工場で木材を切る粉碎刃を再利用、苦労したのは廃材の刃物を使うため大きさを合わせるのが難しかったこと、粘りの強い銅素材刃のため部分的切断に困難を極めたこと。最終的には自社でモーター切断機を導入し、8年近い歳月をかけて開発に成功した。柄は異形鉄筋を採用しコストも圧縮



いわて産業振興センター活用事例

当センターのよろず支援拠点から「割るぞうくん」の商標登録をアドバイス。また、効果的な展示会出店を行うために自社パンフレットの制作に関してもさまざまな支援を受けている。

企業データ

会社名 有限会社吉田研磨工業
本社 岩手県盛岡市浅岸二丁目14番15号
電話 019-622-0241
代表者 吉田 玉吉

CORPORATE DATA

創業 昭和46年(1971)
従業員 7名
業種 刃物研磨
URL <http://www.yoshida-kenma.com/>

SUPERMARKET TRADE SHOW 2018

スーパーマーケット・トレードショー2018に出展します

平成30年2月14日から16日までの3日間、幕張メッセにおいてスーパーマーケット・トレードショー2018が開催されます。スーパーマーケット・トレードショーは、スーパーマーケットを中心とする食品流通業者に最新情報を発信する展示商談会で、全国のスーパーマーケットを中心とした小売業をはじめ、卸・商社、中食、外食、海外等から多数のバイヤーが来場します。

昨年度に引き続き、いわて産業振興センターが出展ブースを設置し、今年度は、首都圏に販路の拡大を目指す35事業者(うち、初出展8社)が特産品を全国のバイヤーにPRするため出展します。

No	事業所名	所在地	No	事業所名	所在地
1	尾田川農園	軽米町	19	元正栄 北日本水産(株)	大船渡市
2	岩手銘醸(株)	奥州市	20	(株)ミナミ食品	洋野町
3	(株)松栄堂	一関市	21	(株)國洋	大船渡市
4	陸前高田地域振興(株)	陸前高田市	22	(株)ドリームラボ	岩泉町
5	(株)千秋堂	雫石町	23	藤原養蜂場	盛岡市
6	(株)青三 初	紫波町	24	ジオファーム・八幡平 初	八幡平市
7	(株)門崎	一関市	25	キートスファーム(株)	盛岡市
8	(株)桜顔酒造 初	盛岡市	26	佐々長醸造(株)	花巻市
9	(有)多田自然農場	遠野市	27	東和食品(株) 初	宮古市
10	(株)水沢米菓	奥州市	28	ハコショウ食品工業(株)	花巻市
11	(株)湯田牛乳公社	西和賀町	29	(株)アンドファーム 初	岩手町
12	(株)中原商店	盛岡市	30	(株)菜花堂	一関市
13	釜石ヒカリフーズ(株)	釜石市	31	(株)小山製麺	奥州市
14	(株)兼平製麺所	盛岡市	32	(有)千葉恵製菓	平泉町
15	農事組合法人となん 初	盛岡市	33	ひころいちファーム	陸前高田市
16	(株)カナンフーズ 初	盛岡市	34	(株)阿部長商店 大船渡食品	大船渡市
17	ソバの里組合 初	釜石市	35	(株)回進堂	奥州市
18	(株)川喜	釜石市			

昨年度の出展風景



昨年度は、34社が共同出展し、会場の幕張メッセには3日間でのべ86,768人の来場がありました。

いわて産業振興センターのブースにもたくさんのバイヤー等が訪れ、積極的な商談が行われました。今年度もチームいわて一丸となって取り組みたいと思います。

ご興味のある方は是非会場まで足をお運びください。(希望の方には可能な範囲で招待券を配布します。)

お問い合わせ 産業支援部 福島 ☎019-631-3824

平成30年度「第22回機械要素技術展」出展企業募集のお知らせ

平成30年6月に開催される「機械要素技術展」に出展を希望する企業を募集します。

「機械要素技術展」は機械要素、加工技術を一堂に集めた“ものづくり企業”の国内最大級の展示会であり、今年度は主要企業約2,450社が出展し、3日間の来場者数は約88,500人に上りました。

本展示会出展は新規取引先開拓の絶好の機会です。是非出展申込いただくようご案内いたします。

詳細は<http://www.mtech-tokyo.jp/>をご覧ください。

機械要素技術展

検索

開催時期	平成30年6月20日(水)～22日(金)	開催場所	東京ビッグサイト
出展負担金(予定)	1社1小間あたり 21万6千円 (1社で2小間の申込が可能です) ※展示品搬入・搬出費用、出展社負担金、出展にかかる説明者の旅費・滞在費等は出展社の負担となります。	以下が設備が含まれる予定です	1ブース約1,500mm×700mm、小間装飾(岩手県出展社として共通)、100V2口、社名板、ストックルーム(共通)、商談ブース(共通)、アームスポット2本/1ブース、展示棚 等
出展対象企業	出展対象企業岩手県内に本社または工場を有する製造業		
申込期限	平成30年1月中旬(予定)※定員になり次第締め切らせていただきます。		
出展企業の確定	当センターで選考のうえ、出展社を決定いたします。※選考は書類審査等を予定しております。		
申込方法	当センターHPの「お知らせ」より、申込書をダウンロード・ご記入頂き、右記にご提出下さい。▶ http://www.joho-iwate.or.jp/		

申込・お問い合わせ

〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 ☎019-631-3822 ☎019-631-3830
公益財団法人 いわて産業振興センター ものづくり振興部 担当:高橋
✉ joho@joho-iwate.or.jp その他、ご不明の点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

ご利用下さい! 岩手県知財総合支援窓口

秘密厳守

相談無料

知的財産(=特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウ・営業秘密など)のことなら岩手県知財総合支援窓口にお任せください!知的財産の「出願・登録」、「侵害対応」、「知的財産の管理」、「知的人材の育成」、「知的財産を活用した経営」など知的財産に関するすべての相談にワンストップで応じます。



知財専門家による無料相談会

知財専門家による定期窓口相談会及び各広域振興局管内での外部窓口相談会を行っています。

定期窓口相談会	
会場	岩手県発明協会 (盛岡市北飯岡2-4-25 岩手県工業技術センター2階)
日時	毎週木曜日 午後1時から4時まで
無料相談申込み方法	
相談を希望される方は、岩手県発明協会に電話又はホームページをご覧ください。 お申込み方法等をご案内します。 岩手県知財総合支援窓口のホームページ(http://www.iwate-hatsumei.org/chizai/)にはお申込みのためのフォームも掲載しています。	

○外部窓口相談会(平成30年1月から平成30年3月までの開催分)

※いずれの会場も相談時間は午後1時から4時までです。

広域名	相談会場	開設日	担当弁理士
県北	県二戸地区合同庁舎	2月 13日(火)	富沢 知成(富沢特許事務所)
県南	奥州市鑄物技術交流センター	1月 17日(水)	村雨 圭介(SANSUI国際特許事務所)
	花巻商工会議所	2月 7日(水)	西澤 利夫(西澤国際特許事務所)
	北上市産業支援センター	2月 21日(水)	東田 潔(PD特許商標事務所)
	岩手県南技術研究センター	3月 7日(水)	東田 潔(PD特許商標事務所)
沿岸	宮古市役所分庁舎	1月 24日(水)	西澤 利夫(西澤国際特許事務所)
	釜石・大槌地域産業育成センター	2月 28日(水)	丸岡 裕作(丸岡特許事務所)
	大船渡商工会議所	3月 14日(水)	村雨 圭介(SANSUI国際特許事務所)

岩手県発明協会 ☎019-634-0684 又は 全国共通ナビダイヤル ☎0570-082100
ご利用時間 9:00～17:15※12:00～13:00(休憩時間) 定休日 土・日、祝日、年末年始

岩手県知財総合支援窓口は、(独)工業所有権情報・研修館からの請負事業として、(一社)岩手県発明協会、(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。

平成 29 年度いわて特産品コンクール 岩手県知事賞受賞商品のご紹介

岩手県及びいわての物産展等実行委員会では本県の県産品の製造販売に携わる方々の新商品の開発を促進するとともに、これら商品等の普及を図るため、昭和48年から「いわて特産品コンクール」を開催しています。

第45回目を迎えた今年度は、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた土産品部門を加え、食品部門、工芸品生活用品部門と合わせて3部門で開催をしました。

この中から、土産品部門・食品部門の岩手県知事賞受賞商品をご紹介します。工芸品生活用品部門の知事賞受賞者、岩手革は11月号でご紹介しています。

◇土産品部門◇



Natulab Cocoon(ナチュラボ コクーン)

三陸の恵みペンダントシリーズ

今まで活用されていなかった、貝殻や魚のウロコを利用し、三陸のお土産としてぴったりの、アクセサリーをつくりました。

三陸の豊かな自然に魅せられ東京から移住。「三陸の海の恵み」でアクセサリーを製作しています。

今まで地元では活用されずに廃棄されていた、アワビやホタテの貝殻やサンマのウロコを使い、樹脂加工を施し、一つ一つ手作りの一点ものです。三陸大船渡の魚介類の美味しさだけではなく、美しさも知っていただき、さらに、東日本大震災からの産業復興の一助になれば幸いです。

同じものが二つとない自然の造形美を、お土産に是非ご利用ください。

Natulab Cocoon 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小出140-11 ☎090-2409-9505
(ナチュラボ コクーン) <https://m.facebook.com/n.c.sanriku/>



いわて特産品コンクール部門別出品状況

NO.	分 類	出品数	事業者数
1	土産品部門	57	18
	食品部門 合計	68	34
2	飲料・酒類	1	1
3	麺 類	5	2
4	菓 子	5	3
5	水産加工品	16	8
6	農産加工品	41	20
7	工芸品・生活用品部門	42	20
	合 計	167	72



▲審査会の様子

◇食品部門◇



就労継続支援A型事業所 鳥もと

岩手のうまい炊き込みご飯シリーズ

安心安全本物の美味しさを岩手から。食材それぞれの美味しさを感じていただける、具沢山の贅沢炊き込みご飯です。

当事業所は、障害を持つ方々の就労の場です。「岩手のうまい炊き込みご飯シリーズ」は、様々な障害を持つ従業員たちが、岩手の水産、畜産、農業そして醤油、油揚げ等生産者の顔が見える、安心安全な、選りすぐりの食材で作りました。

ホヤ、タコ、イカ、サンマ、帆立、和牛のバリエーションがごございます。お米を2合といで水加減してこれを入れて炊くだけ。お手軽に岩手の美味しさをお楽しみいただけます。

就労継続支援A型事業所 鳥もと 岩手県宮古市大通2-6-12 TEL&FAX 0193-64-5484



平成29年度

おかげさまで「設備貸与」は50周年

設備貸与制度のご案内

長期

3年～10年

低利

年1.3%～1.7%

(固定金利)東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。

区 分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記③を満たせば10年以内で2年延長可能)	3年～10年 (導入設備耐用年数上限) (右記③を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円 (右記①を満たせば2億円)	100万円～1億円 (右記①を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10% (右記①を満たせば5%) (最終償還時に返済)	—
利 息 (貸与損料)	年率1.30%～1.70%(固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定) (右記②を満たせば-0.1%)	—
リ ー ス 料 (月 額)	—	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

① 次の企業は貸付限度額が2億円の拡大、保証金が5%に軽減されます。

- 1 中小企業等経営強化法に基づく計画認定企業
(経営革新・異業種連携)
- 2 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- 3 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- 4 いわて希望ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- 5 自動車関連産業生産体制強化計画認定企業
- 6 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- 7 県内企業5社以上に下請発注している企業
- 8 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- 9 今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業

② 次の企業は適用利率から0.1%引き下げられ、据置期間を2年とすることが可能となります。

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

③ 次の企業は貸付期間を耐用年数プラス2年以内(最長10年)とすることが可能となります。

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

お問い合わせ 総務金融部 金融チーム ☎019-631-3821